

# 補助金評価シート(平成22年度実績分)

(1) 補助金事業の名称・位置づけ [Plan1] 白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名(補助金名)	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
95009	中山間水と土ふれあい事業補助金	産業振興課	耕地林務係	中村 良治	西原 功	
		一次評価年月日	平成 23 年 6 月 15 日	連絡先[内線]	2143	
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0628	町単土地改良事業	
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	1章	美しく豊かな自然環境		
		節 (コード選択)	1節	豊かな自然と共生する		
		項[基本施策] (コード選択)	112	田園の保全		
		主な取り組み (コード選択)	1127	地域の景観の保全と形成		
	関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
	補助金の期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 継続 (開始) 11 年度 ~ (終了予定) 年度				
	補助金の性質	<input type="checkbox"/> 事業費補助 <input type="checkbox"/> 団体運営費補助 <input type="checkbox"/> 大会運営費補助 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他( )				
	補助金の交付基準	<input type="checkbox"/> 法令 <input type="checkbox"/> 条例規則 <input type="checkbox"/> 要綱等 <input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称: )				
補助金の算定方式	<input type="checkbox"/> 予算補助 <input type="checkbox"/> 決算補助 <input type="checkbox"/> 定率補助 <input type="checkbox"/> 定額補助					
補助金の財源内訳	<input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国・県補助あり ( 町 / 10 ) ( 県 / 10 ) ( 国 / 10 )					

## (2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(〜に対して)……この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

一部事務組合等  公益法人  企業や団体  個人

( 交付団体名 : 地域協働活動として用水路などの農業用施設を整備し、農村の環境・景観の保全を行うために所属する区長の承認を得て申請する団体 )

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどのような状態にしたいのですか。

農村地域の高齢化や混住化の進行による集落機能の低下に対応するため、土地改良施設の機能や環境・景観などの保全・向上に取り組む地域協働活動を支援する。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 農業用施設の改修や景観を保全するための造成資材費に対して補助する。
- 地域の感興・景観を向上させるための啓発イベント等に助成する。

## (3) 補助金事業の実績 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)
①	指標名	花畑の造成、育成件数	2	2	2	1.00	2
	説明	花畑の造成、育成に対して補助した件数	目標値設定の根拠 平成21年度実績から見込む				
②	指標名				#DIV/0!	0	
	説明		目標値設定の根拠				

## (4) 交付額実績 / 計画の推移 [Do2]

		平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度													
事業費(円)		50,000			150,000			86,535			100,000													
補助率(町負担分)		0%			0%			0%																
町交付額(円)		50,000			150,000			86,535			100,000													
財源内訳	特定財源																							
	国庫支出金																							
	県支出金																							
	地方債																							
	その他	50,000			150,000			86,535			100,000													
一般財源																								
人件費の概算		(千円)																						
対前年比		%																						
		課長			課長補佐			係長			一般職員			延べ人数			年間人件費		年間人件費		年間人件費		年間人件費	
		H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H20	H21	H22	H23	/	/	/	/	/	/	
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	35	35	35	35	35	35	
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート											0	0	0	0	0	0						

**(5) 補助金の効果の評価 [Check]**

必要性	町民のニーズ (団体の活動が町民に求められているか)	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由}	環境保全の観点から、町民ニーズが高くなっている
	社会情勢上必要か	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由}	農村地域の過疎化、高齢化、混住化の進行に伴い、集落機能が低下し、農地、農業用水路などの適切な管理が困難になってきているため。
目的妥当性	この補助金は広く町民のためになっているか?	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由}	地域ぐるみの共同活動と、農業者ぐるみの営農活動とが一体的に実施されている。
	この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	A	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由}	農業者だけではなく農村集落機能の維持のために必要な補助金であるため。
有効性	事業の効果が具体的に把握できているか	A	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由}	実績報告書の提出による。
	補助金を交付することで期待された成果は得られましたか	C	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由}	農地・水・環境保全向上対策事業を5地区で実施中であり、申請件数が減ってきている。
公平性	対象者すべてに補助金が交付されているか	A	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由}	団体の活動区域が明確であり、公平性が担保されている。
その他	これまでに見直し実績はあるか	B	A 今までに補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	{理由}	「水と土基金」を財源とし、事業目的が明確な事業であるため。
	補助金等の交付により町にどれだけメリットがあるか		土地改良施設の機能や環境・景観などの保全・向上が図られる		

**(6) 改革改善 [Action]**

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する     
  イ. 見直しのうえで継続する     
  ウ. 終期設定     
  エ. 廃止     
  オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 増額する  
 b 減額する  
 c その他(隔年対応等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)	
--------	--

**事業の方向性の具体化**

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	23年度予算見積書への反映	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
「農地・水・環境保全向上対策交付金事業」が終了する平成24年度以降を見据え、実施地区については第2期の採択に向けて助言していくとともに、他地区の新たな取り組みについては当補助金を導入して支援していく。	[反映内容]	町単土地改良事業費(中山間水と土ふれあい事業補助金)	

**(7) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)**

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
景観形成のうえで必要な事業ではあるが実施地区が少ない。PRの方法を検討	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

- ア. 現状維持     
  イ. 見直しのうえで継続する     
  ウ. 終期設定     
  エ. 廃止     
  オ. 休止

上記 a ~ c を選択